

2005年春（3～5月）の東北地方の天候

- ・3月の東北日本海側で多雨（雪）寡照
- ・4月、5月の少雨
- ・5月の低温
- ・桜の開花は平年並か遅い

（1）2005年春（3～5月）の概況

寒気が南下することが多く、気温は平年を下回る日が多かった。3月は中旬から低気圧が短い周期で通過し、東北日本海側では曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側は、晴れの日が多くかった。4月に入ても低気圧が短い周期で通過し、東北北部は曇りや雨の日が多くたが、東北南部は影響が小さく晴れの日が多くかった。5月は寒気やオホーツク海高気圧の影響で気温の低い日が多かった。また、4月以降はまとまった雨の降る日は少なかった。桜の開花は3月下旬と4月中旬の低温で平年並か遅かった。

3か月平均気温は東北北部で低く、東北南部で平年並。3か月間降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。3か月間日照時間は東北北部でかなり少なく、東北南部で平年並。

（2）各月の天候経過

3月： 上旬や中旬前半は強い寒気が南下して冬型の気圧配置となる日が多かった。中旬後半以降は短い周期で低気圧や気圧の谷が通過し、通過後は一時冬型の気圧配置になった。このため東北日本海側では曇りや雨または雪の日が多く、青森では月間日照時間の少ない値の極値を更新した。東北太平洋側では晴れの日が多くかった。

月平均気温は、東北日本海側で低く、東北太平洋側で平年並。月降水量は、東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で平年並。月間日照時間は、東北日本海側でかなり少なく、東北太平洋側で少ない。

4月： 低気圧が短い周期で北日本を通過した。このため東北北部の天気は変わり易く曇りや雨の日が多くたが、東北南部は影響が小さく晴れの日が多くた。6日は東北南部の各地で日最高気温が25以上となる夏日となり、仙台等では夏日の初日の早い記録を更新した。また、青森県では融雪による被害があった。中旬は時々強い寒気が南下して、気温が平年を下回る日が多かった。

桜の開花は、中旬の気温が低かったことから各地とも平年並か遅かった。

月平均気温は、東北地方で平年並。月降水量は、東北地方で少ない。月間日照時間は、東北北部で平年並、東北南部で多い。

5月： 上空の寒気やオホーツク海高気圧の影響で天気のぐずつくことがあり、東北太平洋側を中心に気温の低い日が多かった。まとまった雨の降る日は少なく、東北南部を中心に月降水量は少ない所が多かった。

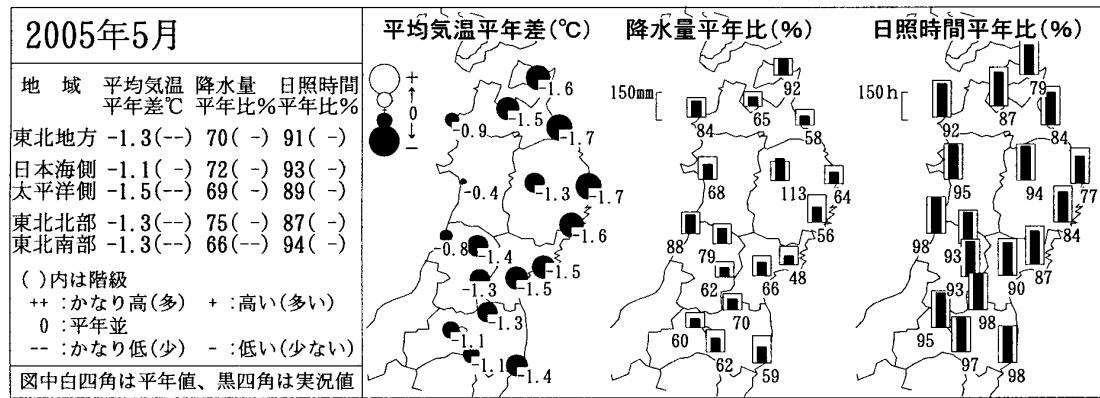
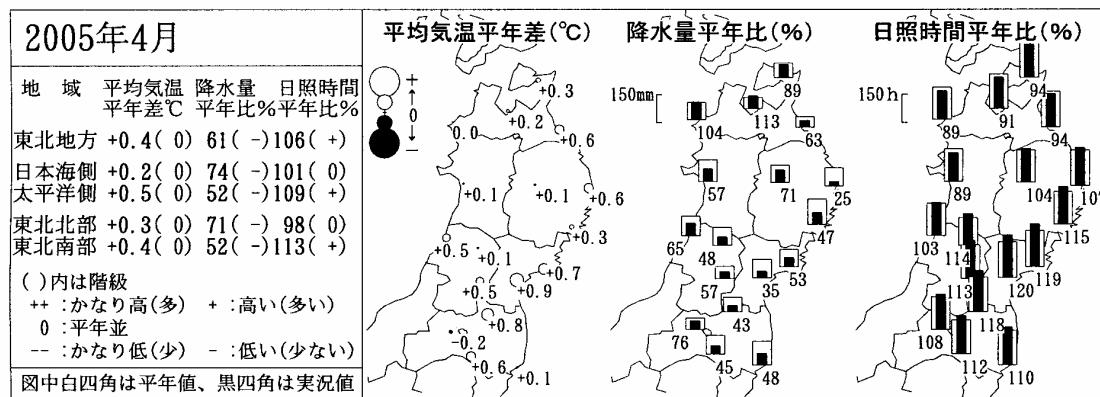
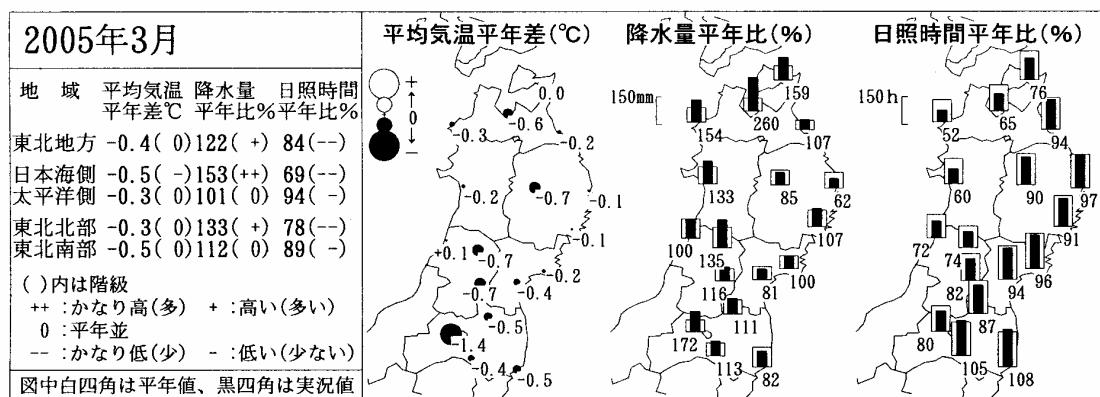
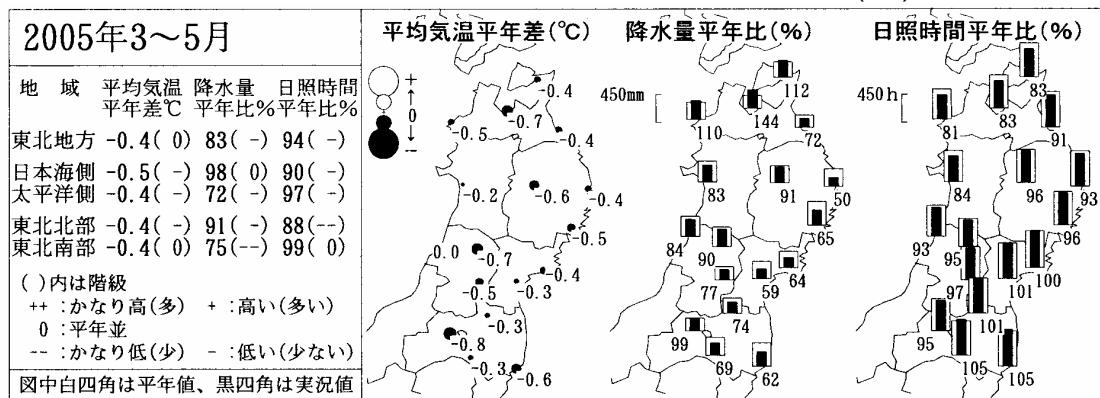
月平均気温は、東北日本海側で低く、東北太平洋側でかなり低い。月降水量は、東北北部で少なく、東北南部でかなり少ない。月間日照時間は、東北地方で少ない。

注）気候統計値は、東北地方にある17地点の気象台、測候所、特別地域気象観測所の観測値より求めています。細分地域については2ページ目脚注を参照して下さい。

平年値の統計期間は1971-2000年です。階級区分については、3ページ目脚注を参照して下さい。

本件に関する問い合わせ先：仙台管区気象台技術部気候・調査課統計係（電話：022-297-8110）

(3) 2005年春(3~5月)の季節・月平均(合計)値の平年差(比)



注) 東北日本海側: 青森県津軽、秋田県、山形県、福島県会津

東北太平洋側: 青森県下北・三八上北、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り

東北北部: 青森県、秋田県、岩手県

東北南部: 宮城県、山形県、福島県

(4) 2005年春(3~5月)の気候表

地 点 名	平均気温(平年差)		階級 降水量(平年比)		階級		降水日数	日照時間(平年比)		階級	
	()	()	(mm)	(%)				1mm	(h)		
青 森	7.0	(-0.7)	-	300.5	(144)	+	*	40	444.8	(83)	- *
深 浦	7.5	(-0.5)	-	308.5	(110)	+		43	400.9	(81)	- *
む つ	6.5	(-0.4)	-	280.5	(112)	+		32	463.1	(83)	- *
八 戸	7.5	(-0.4)	-	141.0	(72)	-		23	521.6	(91)	-
秋 田	8.7	(-0.2)		275.5	(83)	-	*	40	419.7	(84)	- *
盛 岡	7.4	(-0.6)	-	252.0	(91)			42	516.0	(96)	
大 船 渡	8.2	(-0.5)	-	247.5	(65)	-		27	520.6	(96)	
宮 古	7.9	(-0.4)	-	140.5	(50)	-		19	528.9	(93)	-
仙 台	9.5	(-0.3)	-	164.5	(59)	-	*	22	579.3	(101)	
石 卷	8.6	(-0.4)	-	166.0	(64)	-	*	25	591.4	(100)	
山 形	8.9	(-0.5)	-	166.5	(77)	-		30	513.6	(97)	
新 庄	7.4	(-0.7)	-	283.5	(90)	-		49	427.1	(95)	-
酒 田	9.6	(0.0)		275.0	(84)	-		44	464.3	(93)	-
福 島	10.6	(-0.3)		180.5	(74)	-		22	572.1	(101)	
若 松	8.6	(-0.8)	-	206.5	(99)			37	490.3	(95)	-
白 河	9.1	(-0.3)		200.5	(69)	-		24	581.6	(105)	
小 名 浜	10.2	(-0.6)	-	236.0	(62)	-	*	26	600.9	(105)	

(注) 1. 平年値は 1971 ~ 2000 年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+ :高い(多い) :平年並 - :低い(少ない)

各階級の区分値は、1971～2000年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる（各階級が10個ずつになる）ように決めた。

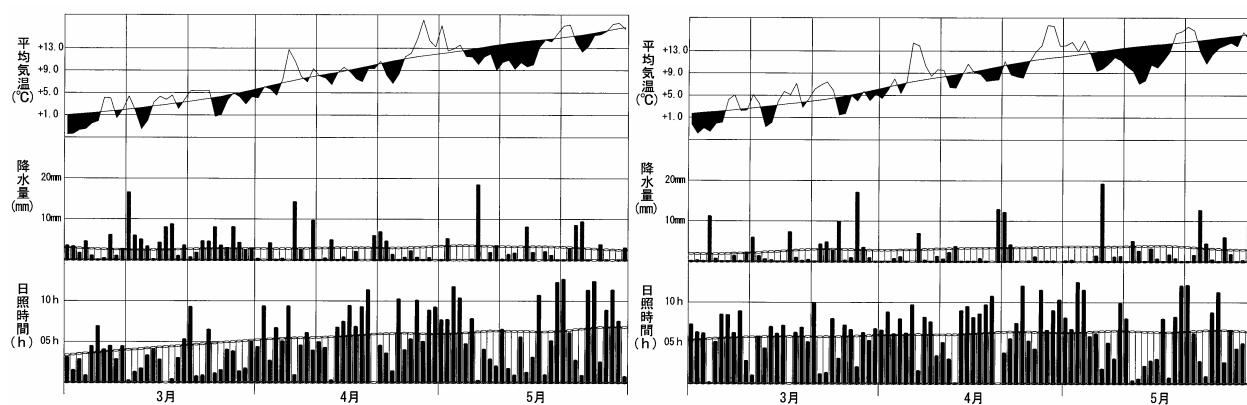
また、値が 1971 ~ 2000 年の観測値の上位または下位 10% に相当する場合には階級の「+ -」に * を付加した。この場合には

と表現できる。

3. 値の横に) や] がある場合には、3か月別値を求める際に使用したデータ(月別値)に欠測等が含まれていることを示す。)付きの値(準完全値)は通常のものと同様に扱うことができるが、]付きの値(資料不足値)については、値の下に記載した統計月数(統計に用いた、品質が十分な月別値の数)を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。

なお、月別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

(5) 2005 年春 (3 ~ 5 月) の日別経過図



気象官署の日別観測値と日別平均値の地域平均(気温:実践と点線、降水量:日照時間:黒い円柱と白抜き円柱)

(6) 2005 年春 (3~5 月) の極値・順位の更新
(季節平均気温、季節降水量、季節日照時間の 3 位以内のみ)

3 か月間日照時間 少ない方からの極値・順位更新

順位	地点名	日照時間(h)	これまでの最小(西暦年)	統計開始年	平年値(h)
3 位	むつ	463.1	405.7(2000)	1935 年	555.8

(7) 各月の極値更新

(月平均気温、月降水量、月間日照時間、月最深積雪の 1 位のみ)

月平均気温 低い方からの極値・順位更新

月	地点名	平均気温()	これまでの最低(/起年)	統計開始年	平年値()
3 月	新庄	1.3	1.3(1994)	1986	2.0

月間日照時間 少ない方からの極値・順位更新

月	地点名	日照時間(h)	これまでの最小(h/年)	統計開始年	平年値(h)
3 月	青森	91.9	101.7(1991)	1956	140.8

月最深積雪 極値・順位更新

月	地点名	観測値(cm)	これまでの最深(cm・起年)	統計開始年	平年値(cm)
4 月	新庄	64	62(2001)	1998	29

(8) 2005 年の桜の開花・満開

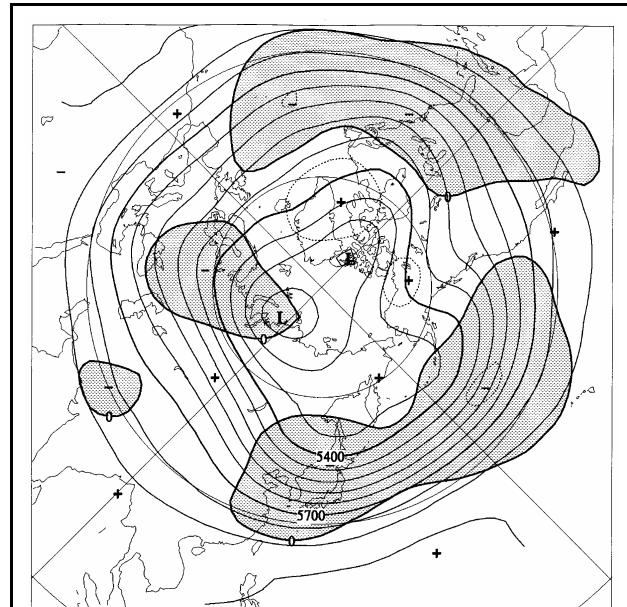
観測地点	開花日					満開日				
	今年 (2005)	平年値	昨年 (2004)	最早/起年	最晩/起年	今年 (2005)	平年値	昨年 (2004)	最早/起年	最晩/起年
青森	4.29	4.26	4.18	4.14/2002	5.11/1984	5.02	5.01	4.21	4.16/2002	5.18/1984
八戸	4.27	4.24	4.16	4.12/1990	5.18/1984	4.29	4.28	4.19	4.16/2002	5.23/1984
盛岡	4.23	4.23	4.13	4.11/2002	5.06/1984	4.27	4.27	4.17	4.16/2002	5.09/1984
宮古	4.18	4.20	4.10	4.08/2002	5.07/1984	4.24	4.25	4.14	4.13/2002	5.19/1984
仙台	4.14	4.12	4.07	3.29/2002	4.28/1984	4.17	4.18	4.10	4.03/2002	5.03/1984
秋田	4.24	4.19	4.12	4.07/2002	4.30/1984	4.28	4.24	4.16	4.12/2002	5.08/1965
山形	4.19	4.17	4.10	4.03/2002	4.29/1984	4.23	4.21	4.13	4.06/2002	5.04/1984
酒田	4.19	4.16	4.09	4.04/2002	4.27/1984	4.25	4.20	4.12	4.08/2002	5.02/1965
福島	4.11	4.11	4.03	3.29/2002	4.25/1984	4.16	4.15	4.08	4.02/2002	4.28/1984
小名浜	4.10	4.08	4.01	3.25/2002	4.25/1984	4.16	4.14	4.08	4.01/2002	4.29/1984
深浦	---	4.26	---	4.13/1990	5.07/1984	---	5.01	---	4.20/1990	5.15/1984
むつ	---	4.29	---	4.19/1989	5.20/1984	---	5.03	---	4.22/1989	5.25/1984
大船渡	---	4.18	---	4.09/1989	5.01/1984	---	4.23	---	4.14/1990	5.07/1984
石巻	---	4.18	---	4.07/1989	5.03/1984	---	4.22	---	4.12/1990	5.06/1984
新庄	---	4.23	---	4.13/1990	5.06/1984	---	4.27	---	4.17/1990	5.11/1984
若松	---	4.16	---	4.07/1989	4.28/1984	---	4.21	---	4.11/1989	5.05/1965
白河	---	4.15	---	4.06/1954	4.28/1984	---	4.20	---	4.10/1990	5.02/1984

深浦から白河の「最早」と「最晩」は、それぞれの統計開始年から 1996 年までの値
深浦から白河の「平年値」は 1971 年からそれぞれの観測終了年までの平均値

開花： 標本木が 5~6 輪開花した状態

満開： 標本木全体のつぼみの 80% 以上が開花した状態

(9) 2005 年春 (2005 年 3 月 ~ 5 月) の大気の流れ



北半球 500hPa 高度 (2005 年 3 月 ~ 2005 年 5 月)
実線は高度 (m) 、 間隔 60m 。 破線は偏差 (m) 、 間
隔 60m 。 陰影部は負偏差域。

2005 年 3 月 ~ 5 月の 3 か月平均の 500hPa 高度を見ると、極を中心に高緯度で正偏差、その周りの日本を含む中緯度で負偏差となり、極の寒気が南下しやすかった。極東域では、東シベリアからオホーツク海北部が正偏差で日本付近が負偏差となっており、オホーツク海高気圧が現れやすかったことを示している。また、太平洋高気圧の日本付近への張り出しは弱く、本州南岸の前線帯が寒気の南下により平年に比べ南に位置したことを示しており、東北地方の降水量が少なかった一因となった。